

赤潮情報第18号 (八代海:コクロディニウム) 注意報 続報

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

八代海北部でコクロディニウムが確認されました。 八代海北部で珪藻類の赤潮が発生しています。

本日、熊本県が調査したところ、コクロディニウム ポリクリコイデスが宇城市戸馳島沖で、海水1mL 当たり80細胞が確認されました(詳細は下図を参照して下さい)。

本種は極めて有害で、ブリ、カンパチ、マダイ、トラフグ等の魚介類をへい死させる恐れがありますので、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意して下さい。

また、八代海北部で珪藻類の赤潮(優占種:スケルトネマ属、キートセロス属等)が発生しています。本県において本種により魚介類がへい死したことはありませんが、周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意して下さい。

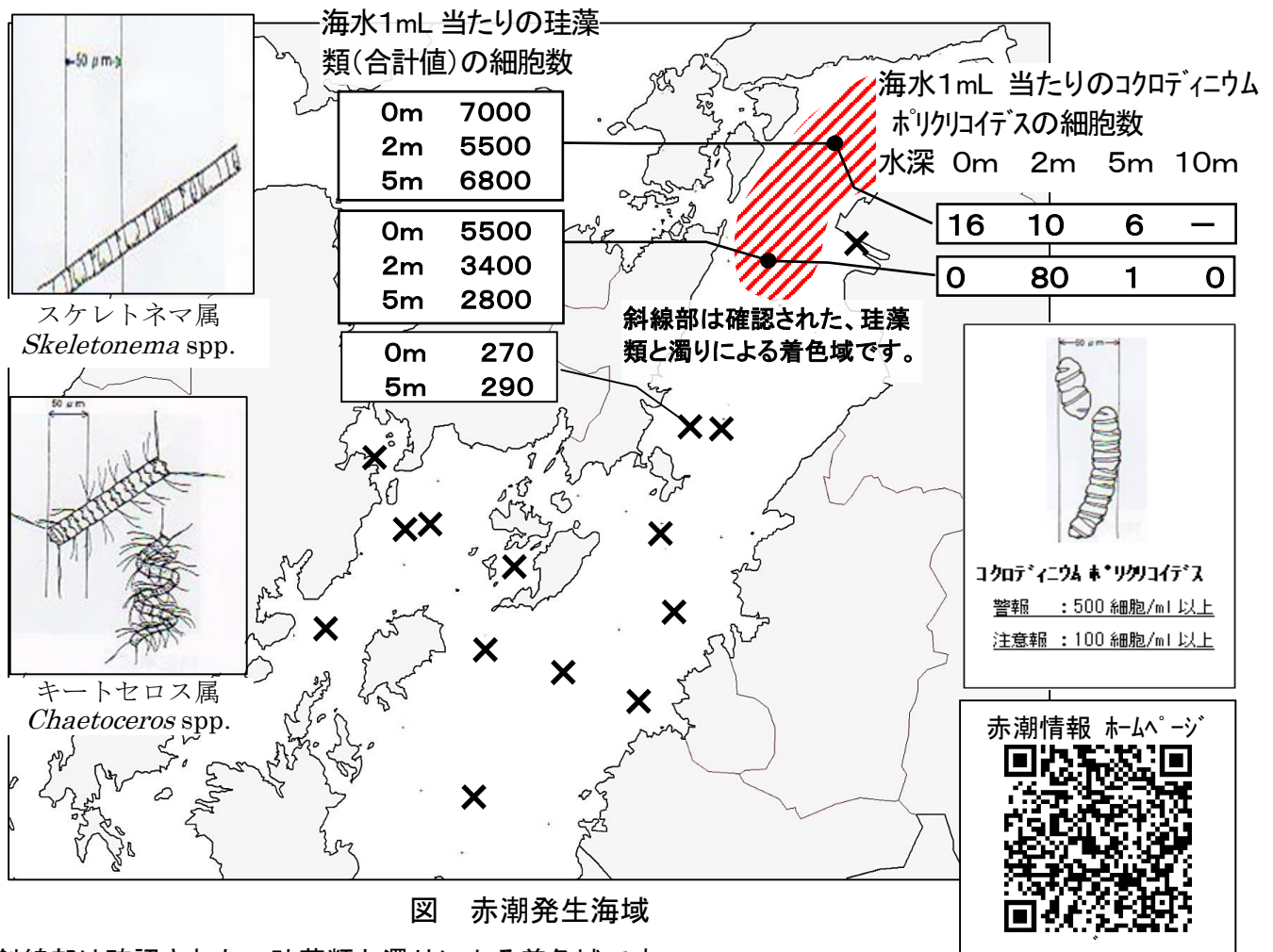


図 赤潮発生海域

※斜線部は確認された、珪藻類と濁りによる着色域です。

※×印: 全ての採水層でコクロディニウム ポリクリコイデスが0細胞(採水層:0m、2m、5m、10m)但し最北部の調査点は0m、2m、5m)、上天草市戸馳島沖と天草市大多尾沖(ブイ跡)の調査水深は0、5、10、20m、八代港内港の調査水深は0m

※-印: 未調査